

平成 26 年度第 2 回青森市子ども会議開催概要

- 1 **日時** 平成 26 年 6 月 14 日（土） 9 時～12 時
- 2 **場所** 青森市総合福祉センター2 階 大集会室
- 3 **出席者** 平成 26 年度青森市子ども委員 19 名（欠席者 13 名）
平成 26 年度青森市子どもサポーター3 名
事務局 4 名
- 4 **活動内容**
 - ・子どもの権利に関する学習会②
 - ・昨年度の子どもの会議の活動で出された市への提案に対する対応状況の説明
 - ・「身の回りの興味のあることについての活動」の活動テーマの決定

5 開催概要

第2回の前半の活動は、第1回に引き続き、子どもの権利に関する学習会を行いました。

学習会の講師は、第1回に引き続き、「子どもの権利擁護委員」である小林央美（こばやしひろみ）先生にお願いしました。

今回の学習会では、まず、グループごとに「困った場面」を考えてもらい、それに対し「守られていない人権」と「解決のために何ができるか」について話し合い、そして答えを取りまとめるという課題が出されました。



話し合いの結果、各グループからはこのような課題に対する回答が出されました。

子ども委員の答え

	困った場面	守られていない人権	解決のために何ができるか
1	親がケータイを見る	自分らしく生きる権利	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にパスワードを変える ・親への感謝のメモを入れておく ・同じことを親にも行う ・あえて見せる
2	親の反対を受けて好きな部活動に入れない	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を表明し参加する権利 ・自由に生きる権利 	自分の意見を親に伝えて話し合いをしたりする
3	いじめにあっている友達を助けたいけど助けに行きにくい	自分らしく生きる権利	<ul style="list-style-type: none"> ・担任の先生に相談する ・話を聞くときにはどちらの立場にも立たずに話を聴く
4	クラスの中で女子の意見が強くなると、それに対して男子がさからえない	意見を表明し参加する権利	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなが平等であることを判ったうえで意見を出し合う ・影響力の強い人から歩み寄ってあげる

5	学校で一生懸命合唱の練習をしてきたのに、発表直前になって先生に曲名を変えられた	<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしく生きる権利 ・意見を表明し参加する権利 	<ul style="list-style-type: none"> ・本当の教育とは何か教師に教える ・言葉で伝えればよかった
---	---	--	--

小林先生からは、一つ一つについてコメントをいただきながら、子どもにとって大切な権利である「安心して生きる権利」、「自分らしく生きる権利」、「豊かで健やかに育つ権利」、「意見を表明し参加する権利」があることを学び、学習会を終えました。



続いて、昨年の子ども会議の活動で出された市への提案に対する対応状況の説明が行われました。

まず、事務局から、昨年11月に開催した「子どもの権利の日イベント」の場で、子ども会議の活動を通して子ども委員自らが調べ、関係者との話し合いや実際に街に出るなどの活動を行った上で出された、市への様々な提案に対する現時点での対応状況について、子ども委員たちに説明しました。

対応状況としては、「通学路やバス停などでのポイ捨て対策を行ってほしい。」、「携帯灰皿を持つよう呼びかけてほしい。」、「青森市のごみの現状について、青森市民に話し、自分たちに何ができるかを考えてもらいたい。」などの提案を受け、市では、

○昨年12月に開催した、「第3回青森市環境フェア2013」における、子ども委員が作成したたばこの吸い殻のポイ捨て禁止と携帯灰皿の所持についてのポスターの張り出し

○今年5月31日から6月6日までの間に行われた「たばこの煙から子どもを守ろう運動 スモークフリー・アクション 2014」における、「たばこのポイ捨て、歩きたばこをやめよう」等の街頭での呼びかけ等

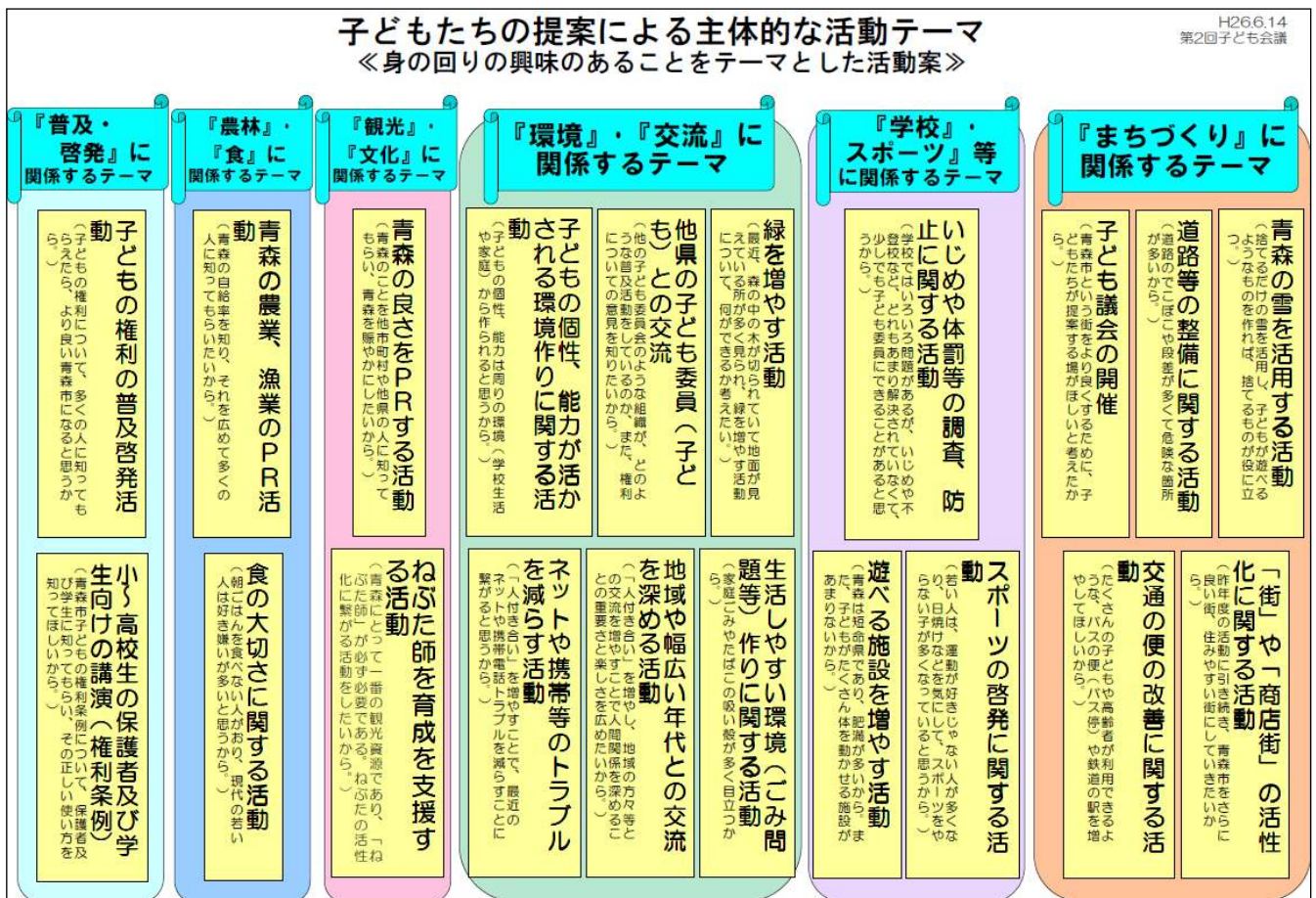
を行いました。

また、この他の子ども委員からの提案については、現在、担当部局において、実施の可能性について検討等を行っていることを伝えました。

事務局では、今後も子ども委員から出された市に対する提案については、可能な限り実現できるように担当部局に働きかけていくとともに、定期的に対応状況等を確認し、子ども委員たちに報告していきます。

次に、今年度の子ども会議の活動内容である「身の回りの興味のあることについての活動」の活動テーマについて話し合いを行いました。

まず、子ども委員たちから事前に出してもらった「今年度の子ども会議でやってみたいこと」を見てもらい、グループごとに話し合いをしてもらいました。



話し合いをした上で、このほかに活動してみたいと思うことがないか、また、意見などはないか尋ねたところ、次のような提案が出されました。

- 『環境』・『交流』に関するテーマのうち、「緑を増やす活動」、「子ども個性、能力が活かされる環境作りに関する活動」、「生活しやすい環境作りに関する活動」を
⇒『学校』・『スポーツ』等に関するテーマに区分し、テーマ名を『子どもを取り巻く環境』にする
- 「緑を増やす活動」を『まちづくり』に区分する
⇒他の委員から、「昨年度の活動の中で、「街」をテーマとした活動を行った時に、テーマの範囲が広すぎて、イベント開催時に苦労したので、『まちづくり』テーマを広げないほうが良い」との意見を踏まえ、「緑を増やす活動」は『子どもを取り巻く環境』に区分したままとする
- 『観光』・『文化』に関するテーマと『農林』・『食』に関するテーマを合体する
- 青森の地産物を使った料理、レシピ等を研究し、PRする。
⇒『観光』に関するテーマに区分
- 『普及・啓発』に関するテーマは、グループ毎に行う活動テーマとは別に、子ども委員全員で行うことにする

これらの意見も踏まえながら、子ども委員と話し合いを行い、“興味活動”については、次の4つのテーマとすることに決まりました。

①「子どもを取り巻く環境」に関するテーマ

②「交流」に関するテーマ

③「観光」に関するテーマ

④「まちづくり」に関するテーマ

『第2回子ども会議』で決定した4つの活動テーマ
 ≪子どもたちの提案による身の回りで興味のあること≫

①『子どもを取り巻く環境』に関するテーマ	②『交流』に関するテーマ	③『観光』に関するテーマ	④『まちづくり』に関するテーマ
<p>生活しやすい環境（ごみ問題等）作りに関する活動 <small>（家庭ごみやばらごみの回収が多くの目立つから）</small></p> <p>緑を増やす活動 <small>（最近、森の中の木が切られていて地面が見えている所が多く見られ、緑を増やす活動について、何が出来るか考えたい）</small></p> <p>いじめや体罰等の調査、防止に関する活動 <small>（学校ではいろいろ問題があるが、いじめや不登校など、どれもあまり解決されていなくて、少しでも子ども委員にできることがあると思うから）</small></p>	<p>地域や幅広い年代との交流を深める活動 <small>（“人付き合い”を増やし、地域の方々等との交流を増やすことで人間関係を深めることの重要さと楽しさを広めたいから）</small></p> <p>他県の子も委員（子ども）との交流 <small>（他の子ども委員会のような組織が、どのような普及活動をしているのか、また、権利についての意見を知りたいから）</small></p>	<p>青森の農業、漁業のPR活動 <small>（青森の自給率を知り、それを広めて多くの人に知ってもらいたいから）</small></p> <p>青森の良さを（青森の特産品等を使った食料品を含む）PRする活動 <small>（青森のことを他市町村や他県の人に知ってもらい、青森を賑やかにしたいから）</small></p>	<p>青森の雪を活用する活動 <small>（活用するための雪を活用し、子どもが遊ぶようなものを作れば、捨てるものが減ると思う）</small></p> <p>道路等の整備に関する活動 <small>（道路でこぼこや段差が多くて危険な箇所が多いから）</small></p>
<p>子ども個人の個性、能力が活かされる環境作りに関する活動 <small>（子どもの個性、能力は周りの環境（学校生活や家庭）から作られると思うから）</small></p> <p>遊べる施設を増やす活動 <small>（青森は短命県であり、肥満が多いから、また、子どもがたくさん体を動かせる施設があまりないから）</small></p> <p>スポーツの啓発に関する活動 <small>（若い人、運動が好きじゃない人が多くなり、日増しに体を動かさなくなっていると思うから）</small></p>	<p>ネットや携帯等のトラブルを減らす活動 <small>（“人付き合い”を増やすことで、最近のネットや携帯電話トラブルを減らすことに繋がると思うから）</small></p>	<p>ねぶた師を育成を支援する活動 <small>（青森にとって一番の観光資源であり、“ねぶた師”が必ず必要である。ねぶたの活性化に繋がる活動をしたいから）</small></p> <p>食の大切さに関する活動 <small>（糖ごはんを食べない人があり、現代の若い人は好き嫌いが多いと思うから）</small></p>	<p>子ども議会の開催 <small>（青森市という街をより良くするために、子どもたちが提案する場がほしいと考えたから）</small></p> <p>交通の便の改善に関する活動 <small>（たくさん子どもや高齢者が利用できるよつぎ、バスの便（バス停）や鉄道の駅を増やしてほしいから）</small></p>

続いて、これらのテーマの中から、どのテーマで活動したいのか、子ども委員1人ひとりに紙に書いて提出してもらったところで、第2回会議は終わりました。

次回第3回では、第2回を欠席した子ども委員も含め、自分で選んだ活動テーマごとに新たなグループを編成し、テーマ毎の数ある活動内容の中から、どの活動を行うかを決定する話し合いや、『子どもの権利条例』の普及啓発活動の内容などを決定するための話し合いを行う予定です。